

令和3年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実技では、時間配分や手順を意識させ、後片付けまで見通しをもって取り組む態度を身に付けることができた。
- ・ICT機器を効果的に活用することで、手縫いやミシン縫いにおける技能の習得に役立った。
- ・学んだことを実生活に生かす意識付けを授業で行うことで、家族の一員としてできることに積極的に関わろうとする姿勢や製作した物を生活に役立てようとしたりする姿を見ることができた。

(2) 課題

- ・今年度も調理実習の実施が難しかった。今後同じような状況が続くのであれば、感染拡大防止を十分に意識した調理実習の在り方を考えていく必要がある。
- ・課題への取り掛かりは良いが、自らの考えや感想を文章表現することに課題が残る。

2 授業改善のポイント (観点別)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的・体験的な活動を多く取り入れ、児童が確かな知識・技能が身に付くように家庭生活と学習した知識を結び付けられるよう指導する。 ・ 日常の家庭生活で身に付いている既存の知識について根拠を明らかにしながら伝えていく。 ・ ICT機器を活用したり実物を用いた実際の操作を示したりするなど具体的なイメージをもたせ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の段階で作業の手順のポイントを図やキーワードで示し内容を確認する。また、準備から片付けまで見通しをもって取り組めるよう掲示方法を工夫する。 ・ 対話的な活動をする際には、話し合う内容を明確に示す。 ・ 表現活動においては、教科横断的にとらえ、指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作活動を中心に粘り強く取り組めるよう声掛けや励ましを行い、達成感を味わわせる。 ・ 自分の活動や作品を振り返り、改善できているところを賞賛する。 ・ 学習した内容を実生活に反映させ、そこからさらに課題を見出していくことのできる学習を浸透させていく。